

第44回

現地参加とオンライン参加形式のハイブリッド開催

ハンセン病医学 夏期大学講座

ハンセン病に関する最新の知識や国際協力の現状、
将来展望などをお伝えします

2023年8月22日(火)・23日(水) **2日間**

※ **参加費無料** / 現地参加者の交通費・宿泊費・昼食代等は自己負担、事前申込者には昼食のお弁当の予約代行可能

会場 国立感染症研究所 ハンセン病研究センター 東京都東村山市青葉町 4-2-1
国立ハンセン病資料館 東京都東村山市青葉町 4-1-13

対象 医療系学生ならびに医療関係者

プログラム

8/22(火) **総合コース** オンライン配信あり・現地参加50名まで 国立ハンセン病資料館 映像ホールにて開催

- 9:00- 主催者挨拶(厚生労働省健康局難病対策課)
- ①9:05-9:55 らい菌の生物学とハンセン病の免疫応答:阿戸 学(国立感染症研究所ハンセン病研究センター感染制御部長)
- ②10:00-10:50 ハンセン病の臨床:山崎 正視(国立療養所多磨全生園皮膚科医長)
- ③10:55-11:45 WHOハンセン病制圧プログラム:四津 里英(チュレーン大学熱帯医学校・准教授)
- 11:45-12:45 お昼休憩
- ④12:45-13:35 ハンセン病の歴史:森 修一(国立感染症研究所ハンセン病研究センター感染制御部第7室主任研究官)
- ⑤13:40-14:30 回復者の証言:藤崎 陸安(全国ハンセン病療養所入所者協議会事務局長)
- ⑥14:35-15:15 ハンセン病の看護:原祐二(国立療養所多磨全生園看護師長)
- ⑦15:20-16:00 ハンセン病の介護:岩崎徹也(国立療養所多磨全生園介護長)
- ⑧16:05-16:35 世界のハンセン病の現状: Emmerson Gale Vista (St. Lukes Medical Center, フィリピン)
- ⑨16:35-17:00 総合討論

8/23(水)

- | | | | |
|------------------|---|--|--|
| 9:00-12:00 | 医学(検査実習)コース ハンセン病研究センターにて開催
現地参加のみ15名まで | 看護コース (認知症対策・フットケアの実演) ハンセン病研究センターにて開催
オンライン配信あり・現地参加20名まで | 国際医療コース (グループディスカッションあり) ハンセン病資料館映像ホールにて開催
オンライン配信あり・現地参加20名まで |
| 13:30-15:45 (予定) | 回復者との交流会 8/23開催各コースの現地参加のみ24名まで ※変更有 ハンセン病研究センターにて開催 | | |

※1日目と2日目どちらも申し込み可能 ※2日目は同時開催のため1コースを選択、交流会は2日目の現地参加者のみ申し込み可能 ※現地参加については、応募者多数の場合抽選とさせていただきます、結果は後ほどメールにてご案内いたします。

申し込み方法

Googleフォームよりお申し込みください。(下記 URL または右記 QR コード)

https://docs.google.com/forms/d/1Bxdu71zxkXRcIDD1z7Quy1jtohrXb2R_BBaYunuBvwE/edit



主催：厚生労働省

お問い合わせ：国立ハンセン病資料館内 ハンセン病医学夏期大学講座事務局
042-396-2909 (火~日 9:00-17:00) info@nhdm.jp